

お客様各位

株式会社 山喜農園
新潟県魚沼市原1280-1
TEL. 025-794-2455
FAX. 794-4168
E-mail: info@yamaki-noen.co.jp
HP Address. http://www.yamaki-noen.co.jp

球根情勢報告

新年明けましておめでとうございます。
旧年中は大変お世話になりました。
本年もよろしく願い致します。

新潟魚沼地方は…、真白な雪景色…何もかも真白です！

だけど…

昔と違って夏も冬も関係なし！年明け早々から忙しい日々となっております。

昨年は（昨年も…）酷い年でした。

振り返るのも嫌なほどの事件・事故が頻発し、「誰か厄年だったっけ？」と考えることが多かった様に思います。

昨冬、2月の雪害…

8月～9月天候不順による極端な品薄高

10月～11月台風フェーン現象等による集中安

日本の百合切花流通において、気象事故がこれ程、全国規模で影響出た年がありましたっけ？

それもこれも過去の事…いまだに傷が癒えていない状態が続いているところもありますが…前を向いて元気出していきましょう！

13年産ワヅガ産百合球根/14年切花流通（昨年9月頃から12月までの4ヶ月間、ぼんやりと考え始めた事…）

そんな年だったから改めてわかった事…

月次切花流通量の変動から（切花価格の推移から）何となく「あ～これくらい過剰だったんだなあ」という目安が示されたような気がしています。

輪付きの良い年でしたね。

なんで今まで話題にならなかったのだろう…。

シラは3～4輪の需要が40%くらいある？葬儀需要を中心に、それを使ってくれている。

シラみたいに葬儀需要を意識した生産/販売計画を立てて、シラに取り組んでいましたっけ？考えてみれば、その品種特性から、ピンクの中では抜群の日持ちと輸送性に優れている訳ですから、当然ですよ！

こういった事が今まで具体的に話題に昇っていなかったように思います。ピンク/赤の夏場に求められる品種特性って…。

12/13年比で、日本が輸入しているワヅガ産O.H/O.T系球根は、ほぼ横バイから微減。

減少の大半は、A.H/L.A系だった訳ですが（当社の場合O.H/O.T系については、約2.5%減…雪害・海難事故等により。）

シラについては約11%も減少してしまいました。（当社のみで、日本全体は分かりません。）

13/14年産では、現時点で約17%減少予定です。（当社のみで、日本全体は分かりません。）

いったいどの品種で穴埋めするのでしょうか？リボンも減少するのに…。

白が過剰にならなければ良いが…。

ピンク/赤に求められる品種特性って…（商品特性という視点で切花農家は考えないといけないのでしょうか！）

輸付きが良すぎて、競り前で売れない。結果的にはこれだけシラの切花生産量が減っていたはずなのに、圧倒的な過剰感があった…需要される輸付きと、供給した輸付きが違うだけでこの結果…。

考えさせられますね…。

別に世田谷サトウパック事件があったからだけではなくて、
大手市場/大手仲卸/大手小売りチェーンの方々の話だけではなくて、
全国の花屋さんが「国産切花に対して」、「市場に対して」、「物流体制の悪化に対して」、
生産地側面ではなくて、花屋さん側から見た時の商物分離についての思いとか…。

考えさせられますね～。

東京オリンピック以降の日本の花産業については、あまりにも先過ぎて、ピンときませんが、少なくとも15～17年、18～20年、向こう6年間、どんな準備をしていけば良いのか？

ヒトがいっぱいあった年だったと思います。

鉢物農家（全部ではないのですが…）は、景気の良い農家/法人が出てきているのですね。ビックリしました！（失礼なことと言ってすみません！）

儲かっている鉢物農家から見た「百合鉢物」ってどうなのでしょう？

考えて見た事ありますか？切花経営にも色々ヒトがありそうですよ！

ちなみに日本全体での「百合鉢物」は、今日現在減少傾向を示していると考えられます。（残念ながら当然そうだろうなあと思っています。）

当社においては、2008年のリーマンショック以降…

2010年産～2013年産（営業年度2011～2014年の約4年間）

様々な意味で苦しみ、皆様には多大なるご心配ご迷惑をお掛けした場面も多々あったかと思えます。

14年産以降（営業年度2015年以降）

この4年間の苦しい時期だったからこそ経験できた事を糧にして、活動が出来ればと考えています。

よろしくお願い致します。

14年産ワグ産百合球根/15年切花流通

予測に反して、A.H/L.Aで欠品が出ました。輸出入業者在庫…少なくなっていますよね？

O.H/O.T系については新たな問題…根腐れ病…

昔からありますが、ちょっと増えてきそうです…。

ある大学の先生とワグへ出張してきました。

民間ワグ人への問題解決に向けての努力している姿には頭が下がる。現状出来るベストの選択をしているように見える。

日本の農業行政が研究に対して行っている予算処置は、国の規模が違うにせよ、圧倒的に大きいのだ…という事を改めて感じたそうです。

民間だけでは限界があるようにも見える。

なんとか問題解決に向けて関われる環境を作っていきたいとの事。

Plamv 問題解決の難しさを改めて確認しました。

まだ時間がかかりそうです…。

輸付きは悪い年になるとは言い切れませんが、昨年ほど付く年になる可能性は低そうです。

通常使用しているサイズ + α くらいでないかと…と考えています。

休眠打破はそんなに早くならないのではないのでしょうか…。

O.H/O.T系では、国際的にはやや過剰感が出るのでは？と感じていますが、輸出業社の頑張り次第ですね！

2014年1～12月期にご注文いただいた球根につきましては、その大半が、仕入レート1EURO=¥139～139.5にて原価計算できました。

(12月の一部で¥142.5対応があります。50,000球以下です…すみません。)

1月の適応レートは、1EURO=¥139.5にて対応といたします。

(年明けてやや円高修正。まだTTSレート¥142.5くらいですが…。)

なんとか期末までこのレートが使えればと願っています。

15年産南半球産適応レート **1EURO=¥138.0～142.0** の範囲で価格表作成検討中です。
まだ確定ではありませんが、速報版の品種リストは、HPに載せました。あくまでも速報版ですので変更があります。
14年産南半球産については、**1EURO=139.0～143.0** でご案内し、結果的に**¥140.0**にて原価計算いたしました。
¥138.0以下は出来るでしょうか？¥142.0以上にしないように努めたい…。
結果的に、昨年以下のレートが使えればありがたいですよ！(あくまでも今日現在の目標です！)
N.Z/C.Hの現地価格…どうなるでしょう…？(当社HP12月25日球根情勢報告を改めてご確認ください。)

*第四銀行TTSレートベース

1991年～2014年 平均EURO価 ¥133.60-

2001年～2014年 平均EURO価 ¥131.47-

2008年～2014年 平均EURO価 ¥127.62-

2003年以降、1年間の平均価が一番円高な年 2012年¥104.13-

(一番円高だった年は、当社が記録している範囲で、2000年¥101.13-)

2003年以降、1年間の平均価が一番円安な年 2007年¥162.75-

(この2006～2008年8月まで続いた円安期で、無理したツケが…。安定化のために実行したんですけどね…。

ちなみに、1991/1992年に¥161.0時代がありました。当時はギルダ-でしたが…。)

1年間の平均価(参考) 2014年¥141.92- (¥136.92→→→150.92-)

2003年以降、1年以内の為替変動が一番大きい年 2008年±¥53.75- (¥171.15→→→¥117.40-)

2003年以降、1年以内の為替変動が一番小さい年 2005年±¥12.22- (¥132.60→→→¥144.82-)

同一年内の為替変動の大きさは、2008年～2013年まで異常な状態が続いていました。(今も続いている？解りません…。) ±¥20.47～±¥53.75-

経済指標的には景気が良かった(実感していたかどうかはともかく)、2003年～2006年では、変動幅が小さかった様です。 ±¥12.22～±¥18.87-

2014年は、日銀総裁の通称「黒田バズーカ」があっても、変動幅が±¥14.0-しか無い年でした。(バズーカ前ならたった±¥7.9-！すごいですね！)

この安定感ってものすごく大事でしょう！

経済は、インフレでもデフレでも好景気でも不景気でも、安定していれば手の打ちようはある様に思います。

15年は、そういう年であってほしい、願わくば±¥15.0-以内！

3～4年安定期間があれば…

年頭だからでは無くて、15年以降、何となく「良い風が吹いてきそうな気がしている理由です。(今の時代の流れと要求にあった事しなければだめなんだろうけどね！)

よろしく願い致します。



<http://www.lily-promotion.jp/>
私共はLPIの趣旨に賛同し
協力・応援しています

以上 森山 隆